



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### シーシュポスの岩

ノーベル文学賞を受賞したフランスの作家アルベール・カミュに「シーシュポスの神話」という哲学的短編がある。罪を犯したシーシュポスは罰としてゼウスから巨大な岩を山頂まで上げるよう命じられる。しかし、シーシュポスがあと少しで山頂に届くところまで岩を押し上げると、岩はその重みで底まで転がり落ちてしまい、この苦行が永遠に繰り返される。このことから「シーシュポスの岩」は、「(果てしない)徒労」を意とする喩えとして使われるようになった。

よく「夢に向かって努力すれば必ず叶う」というが、挫折する人の方が多いのが実情だ。「シーシュポスの岩」の比喩は報われない努力もあるということ。夢に向かって努力を続けている子供達には教える必要のない言葉かもしれないが、大人になれば多くの人はこの言葉に納得することだろう。

(追記)アルベール・カミュはフランスの作家・劇作家だが生まれはアルジェリア。その著作の多くは「不条理」という概念によって特徴付けられる。28 歳の時に執筆した「異邦人」が絶賛され注目される。1957 年 44 歳でノーベル賞受賞。1960 年交通事故で急死(享年 46)。





## 「38度線のマリア」、望月和(カズ)

望月カズ(昭和2年生まれ、同58年56歳で没)といってもメディアで取り上げられることもないので、今では知る人も少なくなった。カズは満洲で孤児となり、終戦によって帰国するが身よりもないため再度満洲に戻ろうとするも「北緯38度線」を越えることができずにソウルにとどまっていた。

昭和25年6月朝鮮戦争が没発、その時、乳飲み子を抱いた韓国人女性が北朝鮮軍兵士に射殺される。泣くじゃくる赤児を救いあげたのが望月カズであった。これをきっかけに孤児たちを育てていく決意をする。といっても孤立無援のまま、肉体労働を重ね、時には売血をし、バラックを立て孤児たちを育てる。昭和38年に理髪師の資格を取得、「愛の理髪師」としてその名が知られるようになり、最終的にカズが育てた韓国人孤児は133人となり、朝鮮動乱にちなんで「38度線のマリア」と呼ばれるようになるのである。



昭和46年には朴正熙大統領から「韓国国民勲章・冬柏賞」に叙せられている。

## 夏を感じさせる言葉(味わい深い日本語)

「草いきれ」・・・夏、日光に強く照らされた草の茂みから起こる、むっとする熱気。

「夏座敷」・・・夏、襖や障子をとり払い、すだれなどで涼しそうに装った座敷。

「油照(あぶらで)り」・・・空が薄曇りで風がなくじりじりと蒸し暑いこと。

「打ち水」・・・ほこりをしずめたり暑さをやわらげたりするため、道や庭先などに水をまくこと。





## FIWA®通信「インベストラ이프」

「タなぎ」・・・夕方、海風と陸風とが交替するとき、一時無風状態になること。

「雲の峰」・・・夏、峰のように高く立つ雲。入道雲(積乱雲)のこと。

### 会計検査院の会計検査は誰がしているのか

会計検査院は財務省の予算をはじめ、国の会計をチェックする最高機関。ある意味、国税庁より恐れられる人たちの集まりだ。

しかし、その会計検査院の会計検査は誰が、どこが行っているのだろうか。さすがはチェックの鬼、それは会計検査院自身である。院のなかに、検査官会議(検査官 3 名)、事務総局があり、そこがほかの検査と同様に会計検査院の検査を行っている。

なお、検査官の任期は 7 年で、内閣が任命し天皇が認証することになっている。

### ハイジャック

1920 年代、禁酒法時代のアメリカでは、強盗などの犯罪が横行していた。犯人は犯行に及ぶ時に「Hi, Jack! 」と声をかけ銃を突き付けていた。ここからこうした強盗行為全般をハイジャックと言っていた。そこから転じて、乗り物を乗っ取る時に銃を突き付けるイメージから、乗っ取り=ハイジャックとなっていっただのである。

日本ではハイジャックは飛行機の乗っ取りという意味で使い、そしてバスジャック、シージャックなどの言葉も生まれたが、後者は和製英語である。

### 河岸を変える

飲食や遊びの場所を変えることを、河岸を変えるという。この場合の「河岸」とは川の岸のことをいい、とくに舟から人や荷物の揚げ下ろしをする場所をいう。また、魚市場・魚河岸のこともいい、現在はこの意味で用いることが多い。

江戸時代には新吉原を囲む掘割沿いの通りを「河岸」といい、そこにある遊女屋のこともいった。「河岸を変える」といえば、もともとは遊女が抱え主や働き場所を変えることで、そこから転じて、一般に遊び場所を変える意味になったのである。